

計画の進行管理

本計画の進行管理として、「全国学力・学習状況調査」、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の項目をもとに、代表的な成果指標を設定し、前期計画期間の目標を定めて、取組みを進めてきました。

1) 全国学力・学習状況調査

①教科に関する調査結果

学力に関しては、全国学力・学習状況調査の学力に関する調査において、「全国平均を上回る」という目標を設定しましたが、大半の成果指標において、目標を達成できていない状況です。

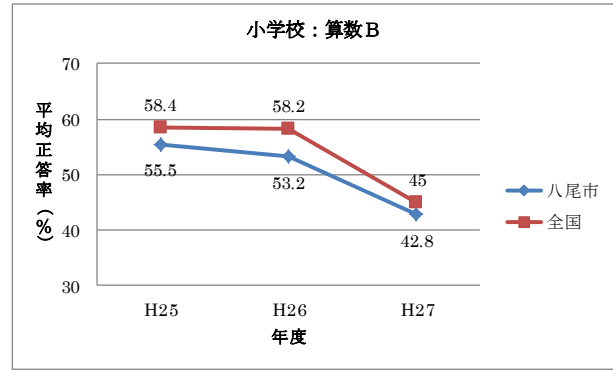
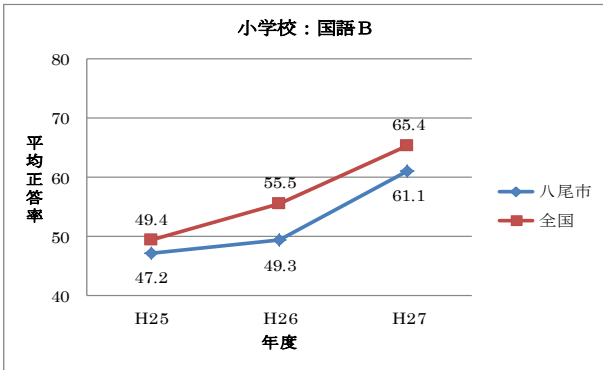
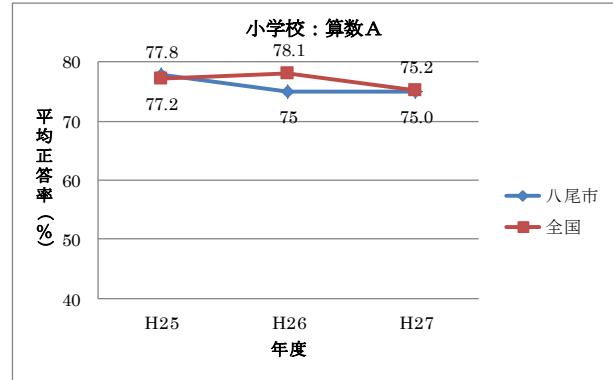
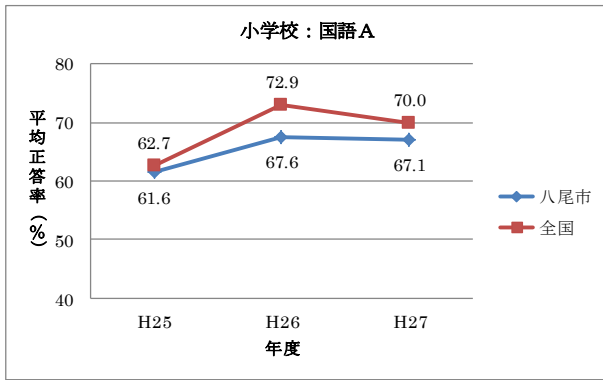
〔小学校 6 年生〕

成果指標	平成 22 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	八尾市	全国	八尾市	全国	八尾市	全国	八尾市	全国
国語 A の平均正答率	83.3	83.3	61.6	62.7	67.6	72.9	67.1	70.0
国語 B の平均正答率	74.6	77.8	47.2	49.4	49.3	55.5	61.1	65.4
算数 A の平均正答率	75.8	74.2	77.8	77.2	75.0	78.1	75.0	75.2
算数 B の平均正答率	48.4	49.3	55.5	58.4	53.2	58.2	42.8	45.0

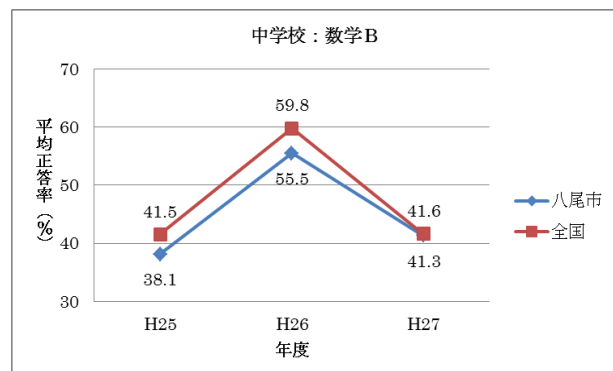
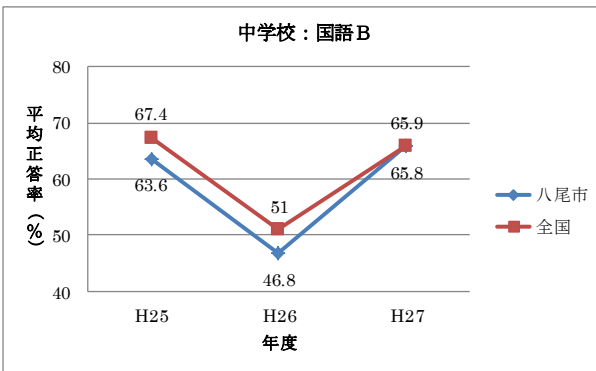
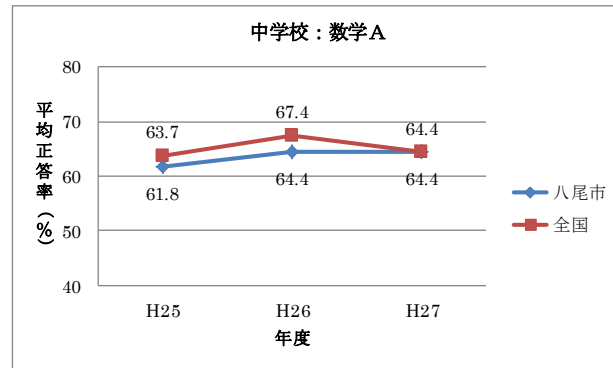
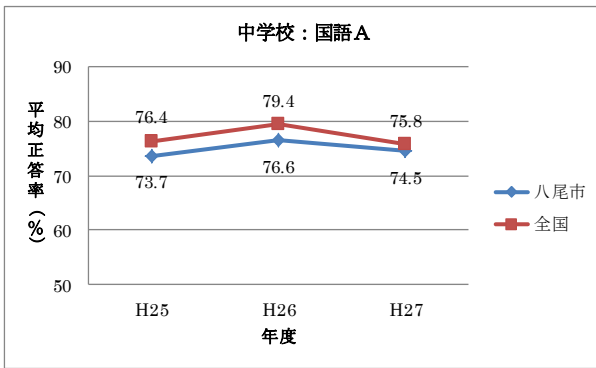
〔中学校 3 年生〕

成果指標	平成 22 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	八尾市	全国	八尾市	全国	八尾市	全国	八尾市	全国
国語 A の平均正答率	72.5	75.1	73.7	76.4	76.6	79.4	74.5	75.8
国語 B の平均正答率	61.0	65.3	63.6	67.4	46.8	51.0	65.9	65.8
数学 A の平均正答率	64.6	64.6	61.8	63.7	64.4	67.4	64.4	64.4
数学 B の平均正答率	41.4	43.3	38.1	41.5	55.5	59.8	41.3	41.6

次に、平成 25 年度から平成 27 年度までの対全国比を経年比較すると、小学校（6 年生）の国語・算数では、主として知識に関する問題（A 問題）、主として活用に関する問題（B 問題）ともに、平成 26 年度に全国との差が拡大しましたが、平成 27 年度に差が縮小しています。



また、中学校（3年生）の国語・数学では、主として知識に関する問題（A問題）、主として活用に関する問題（B問題）ともに、平成27年度に改善が見られ、特に、国語B、数学Aについては全国水準となっています。



②児童・生徒質問紙の調査結果

児童・生徒質問紙調査の項目のうち、学力と関係する項目を本計画の代表的な成果指標としていますが、各項目に設定している目標値をほとんど達成できていない状況です。

(1) 学習時間等

小学校6年生は、学校の授業時間以外に、30分以上勉強している児童の割合が平成26年度に減少していますが、平成27年度に改善が見られます。また、読書が好きと回答した児童の割合は増加傾向となっています。

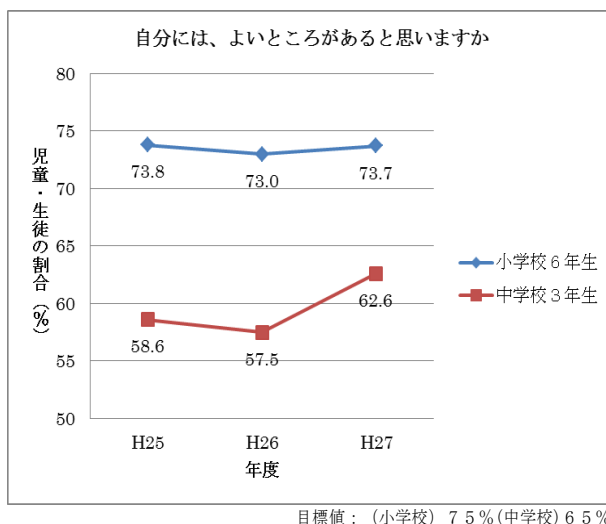
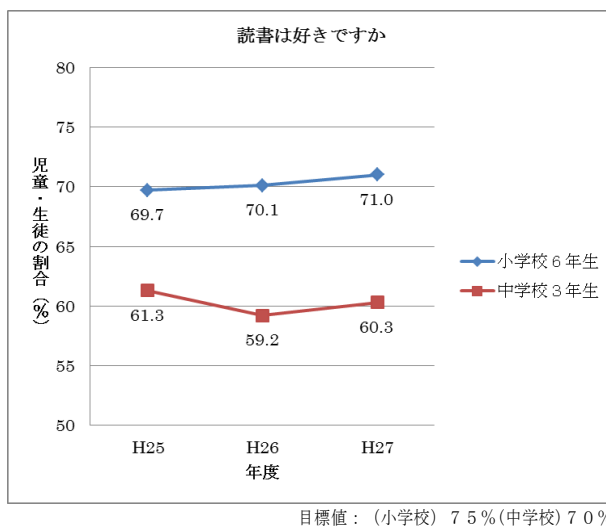
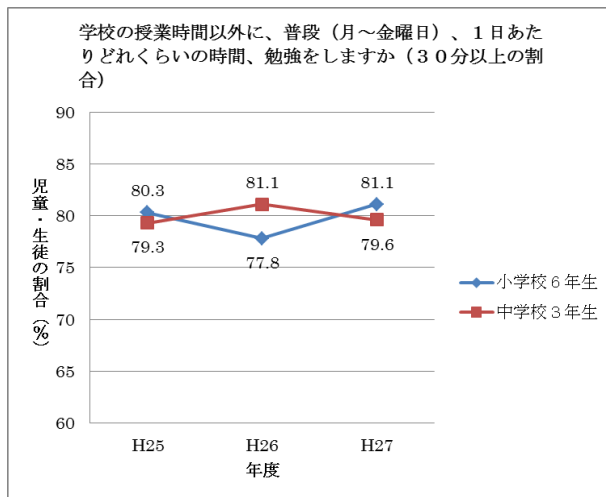
次に、中学校3年生は、学校の授業時間以外に、30分以上勉強している生徒の割合が平成26年度に増加していますが、平成27年度は減少しています。また、読書が好きと回答した生徒の割合は平成25年度と比較すると、平成26、27年度は減少しています。

日常的に予習・復習する姿勢を多くの子どもたちに身につけさせるため、家庭学習、放課後学習・補充学習をより充実する必要があります。また、読書をする習慣を身につけることが大切です。

(2) 自尊意識

自分にはよいところがあると回答した子どもの割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに、平成26年度に減少していますが、平成27年度に改善が見られます。

子どもたちが自分を大切にし、社会の中で助け合って生きることを身につけさせる



ため、学校、家族や社会との関係性の中で豊かな心を育む必要があります。

(3) 規範意識

小学校6年生は、学校のきまりを守っていると回答した児童の割合が減少傾向となっています。

一方、中学校3年生は、平成26年度に減少したものの、平成27年度には改善が見られ、目標値を達成しています。

次に、人の役に立つ人間になりたいと思うと回答した子ども割合については、小学校6年生は増加傾向となっています。

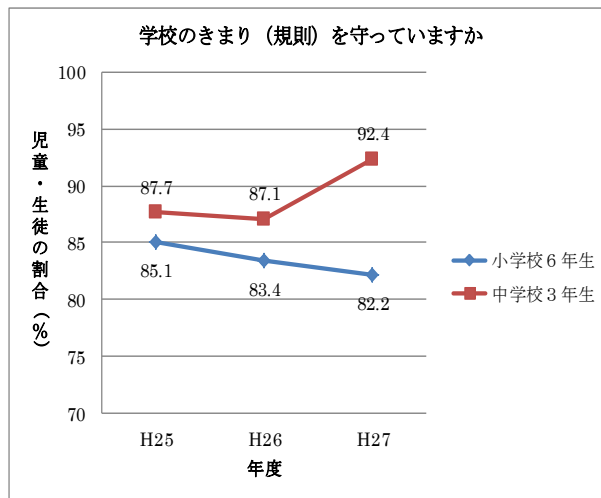
また、中学校3年生は、平成26年度に減少していますが、平成27年度に改善が見られます。

規範意識は、問題行動等の未然防止や解決と子どもたちの健全育成のために重要であることから、子どもたちや地域の実態に応じて取組みを進め、特色ある取組みを各学校園に広めて、新しい取組みにつなげていく必要があります。

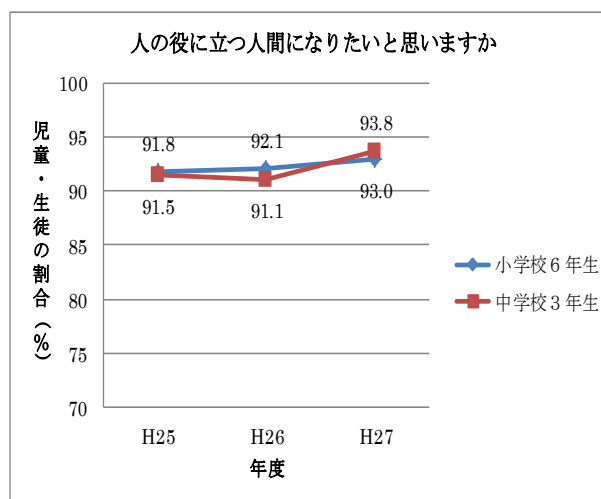
(4) 基本的な生活習慣

朝食を毎日食べていると回答した子どもの割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに、大きな変化は見られません。

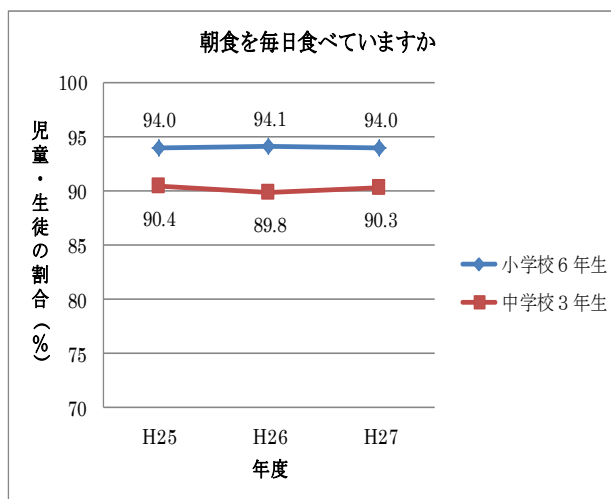
学習意欲や体力、気力の向上については、基本的な生活習慣の確立が大切です。



目標値：（小学校・中学校）90%



目標値：（小学校・中学校）95%

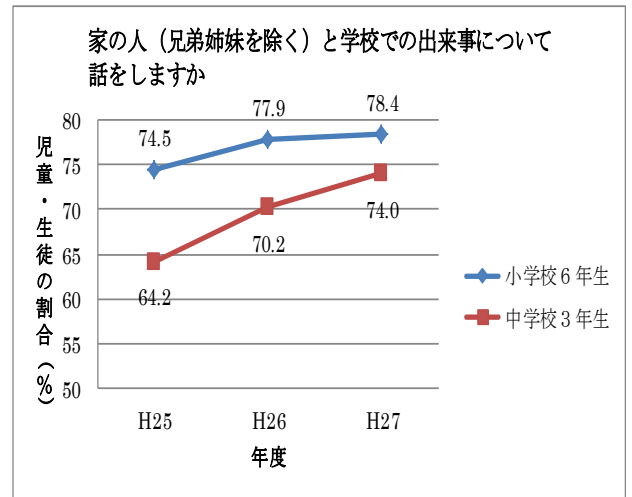


目標値：（小学校・中学校）95%

(5)家庭でのコミュニケーション

家の人と学校での出来事について話をしている子どもの割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに増加傾向となっています。

親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなが、豊かな家庭教育につながることから、引き続き、支援の取組みを充実していく必要があります。

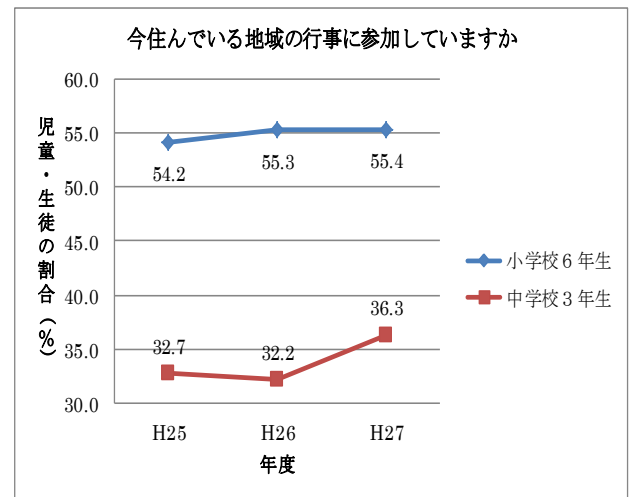


(6)地域との関わり

今住んでいる地域の行事に参加している子どもの割合は、小学校6年生は増加傾向となっています。

また、中学校3年生は、平成26年度に減少していますが、平成27年度に増加しており、目標値を達成しています。

異年齢の子どもや異世代の地域の人々とのかかわりは、様々な体験を通して、子どもの自主性・創造性・社会性を育むことにつながることから、今後も地域と連携した取組みが重要になります。



目標値：(小学校) 65%(中学校) 35%

2) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の種目のうち、本市の児童・生徒には持久力、瞬発力の課題があることから、「反復横とび」、「20mシャトルラン」、「50m走」を本計画の代表的な成果指標にしましたが、「全国平均を上回る」という目標を達成できていない状況です。

〔小学校5年生〕

成果指標	平成22年度		平成25年度		平成26年度	
	八尾市	全国	八尾市	全国	八尾市	全国
反復横とび(回)	40.04	41.47	39.45	41.41	40.41	41.61
	37.06	39.17	37.43	39.06	37.95	39.36
20mシャトルラン(回)	48.00	51.29	46.37	51.41	49.69	51.67
	36.52	39.65	35.83	39.66	38.70	40.29
50m走	9.58	9.38	9.53	9.38	9.47	9.38
	9.79	9.65	9.79	9.64	9.78	9.64

※上段は男子、下段は女子

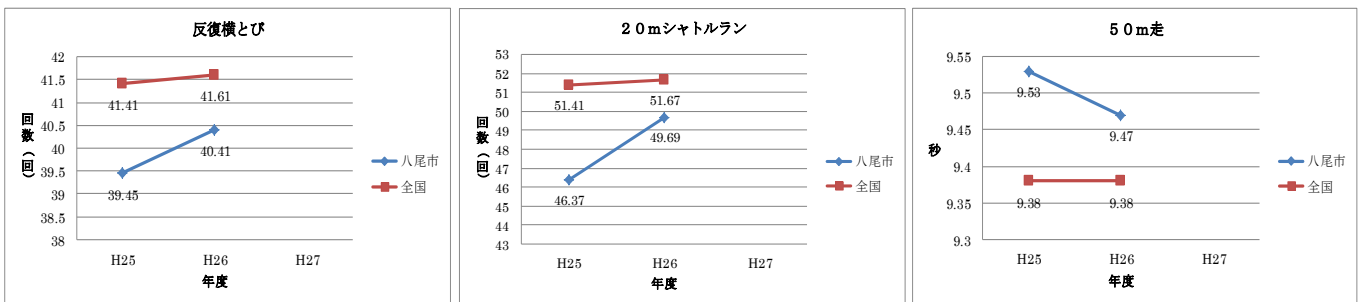
〔中学校2年生〕

成果指標	平成22年度		平成25年度		平成26年度	
	八尾市	全国	八尾市	全国	八尾市	全国
反復横とび(回)	49.94	51.04	51.27	51.08	51.30	51.31
	44.33	44.97	44.19	45.27	44.88	45.63
20mシャトルラン(回)	80.93	84.49	80.72	84.98	80.93	85.92
	56.42	56.45	54.52	57.20	54.59	57.77
50m走	8.24	8.04	8.18	8.04	8.20	8.03
	9.06	8.90	9.11	8.88	9.06	8.87

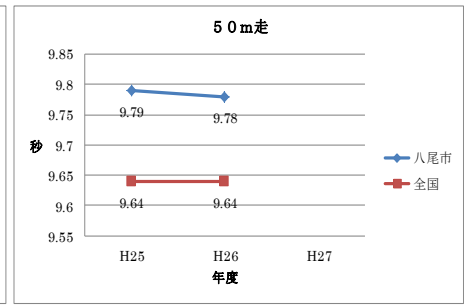
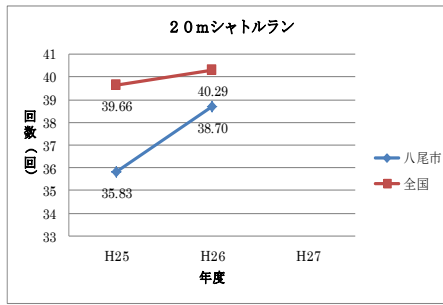
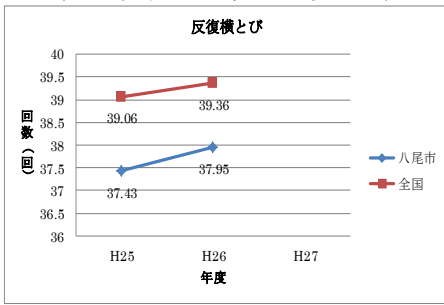
※上段は男子、下段は女子

次に、平成25年度から経年比較すると、小学校5年生、中学校2年生の男女共に、50m走以外の種目において結果が上がっています。

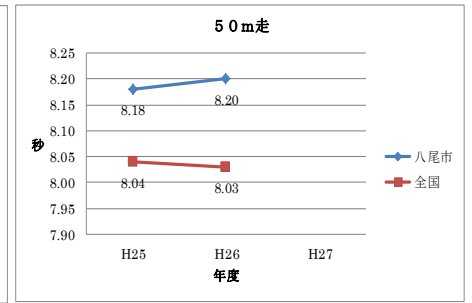
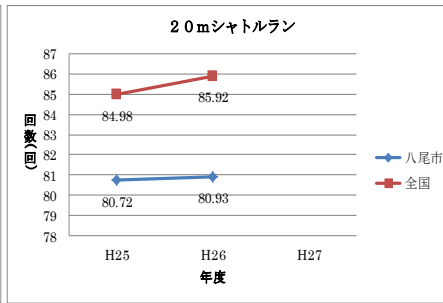
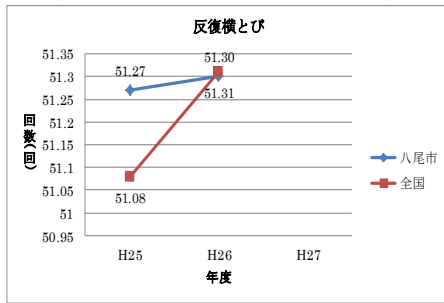
(小学校5年生 男子)



(小学校 5 年生 女子)



(中学校 2 年生 男子)



(中学校 2 年生 女子)

